

モモせん孔細菌病

英名 : Bacterial shot hole

病原 : *Xanthomonas campestris* (細菌類)



葉の症状



果実の症状



夏型枝病斑(サマーキャンカー)



春型枝病斑(スプリングキャンカー)

生態と防除

発症部位 : 葉、枝、果実

発生の経過 : 1. 伝染源 … 新梢の皮部組織内(スプリングキャンカー)
2. 発消長 … 発生が早い場合は落花後まもなくから、
通常は落花後30日頃から、葉や果実に発病が見られる。

発生しやすい条件 : 適温が25℃前後、葉や果実の気孔や傷口から侵入する。
風当たりの強いところや湿度の高いところで発生が多い。
4月、5月の風雨により発生が助長される。

防除 : 薬剤のみでの防除は困難であるため、防風ネットなどによる防風施設を設置する。
袋かけを丁寧に行う。春型枝病斑等伝染源除去を行う。